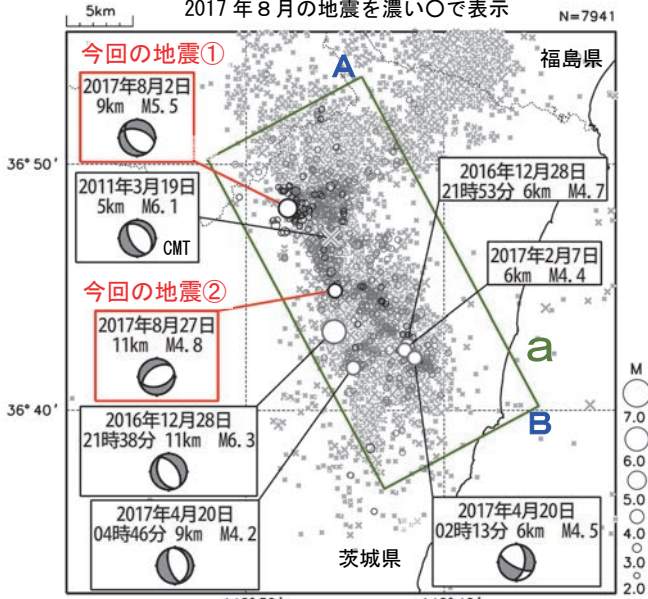


# 8月2日、8月27日 茨城県北部の地震

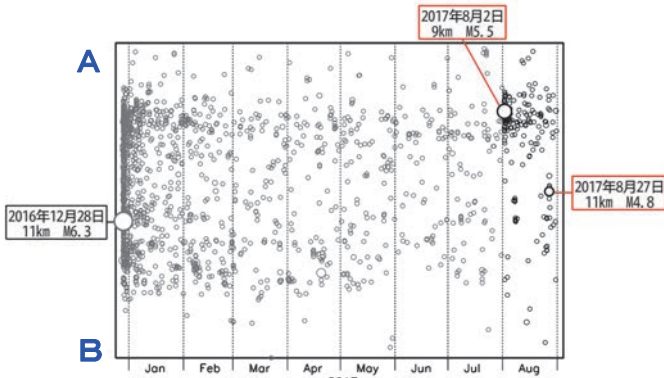
## 震央分布図

(2011年1月1日～2017年8月31日、  
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$ )

2016年12月27日までの地震を薄い×で表示  
2016年12月28日から2017年7月31日の地震を薄い○で表示  
2017年8月の地震を濃い○で表示



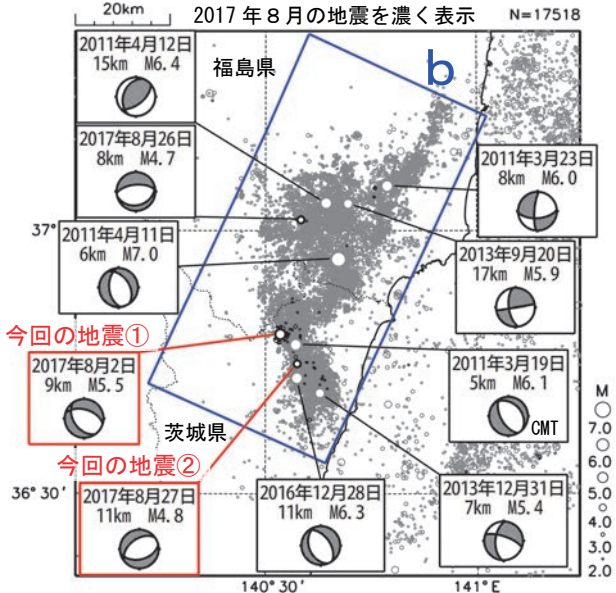
領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)  
(2016年12月28日～2017年8月31日、 $M \geq 1.5$ )



## 震央分布図

(1997年10月1日～2017年8月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )

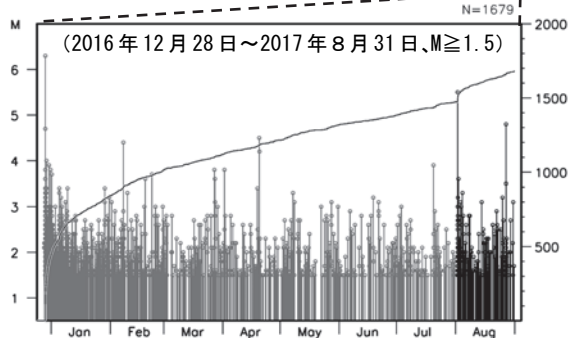
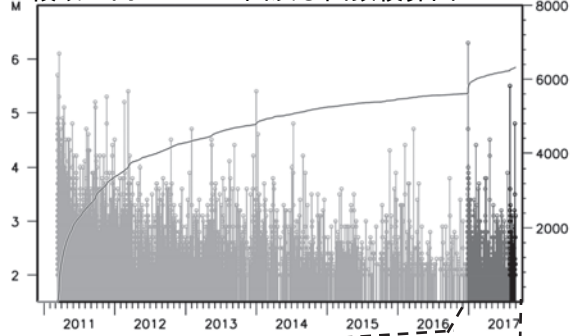
2017年8月の地震を濃く表示



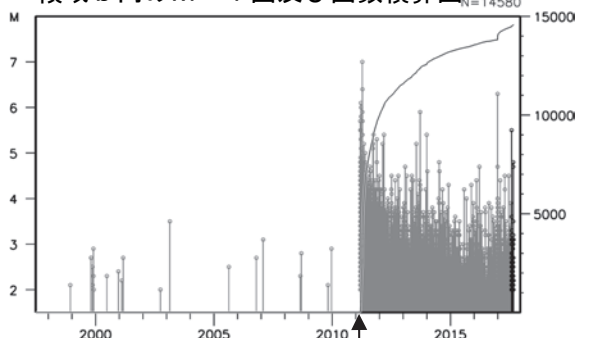
2017年8月2日02時02分に茨城県北部の深さ9kmでM5.5の地震（最大震度4、今回の地震①）が発生した。また、同月27日11時26分に茨城県北部の深さ11kmでM4.8の地震（最大震度3、今回の地震②）が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。今回の地震①の発震機構は北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。また、今回の地震②の発震機構は北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。これらの地震は、2016年12月28日のM6.3の地震（最大震度6弱）の発生以降にまとまった地震活動がみられている領域（領域a）内で発生した。領域a内では、最大震度1以上を観測する地震が8月中に13回（震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：8回）発生している。

1997年10月以降の活動をみると、福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内（領域b）では、東北地方太平洋沖地震の発生後に地震活動が活発化し、2011年4月11日に発生したM7.0の地震では、死者4人等の被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。その活動は、全体として低下しているものの、2011年以前に比べて活発な状況が継続している。

## 領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



## 領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



東北地方太平洋沖地震発生